



はらじゅくかわら版

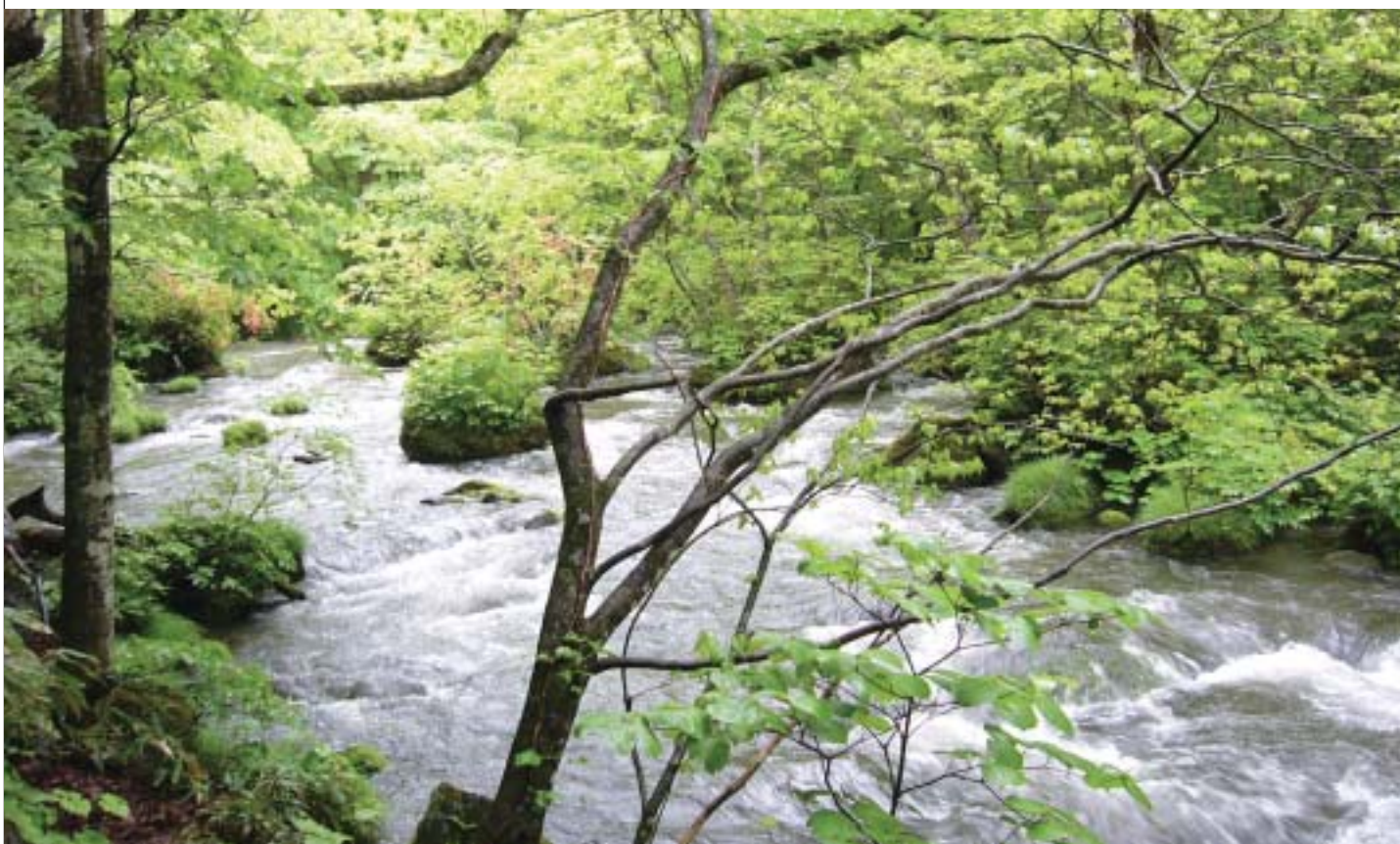
独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



青森への看護師募集活動の際、立ち寄った奥入瀬渓谷 小西洋子撮影

第25号 目次

地域医療支援病院運営委員 就任挨拶	1
トピックス	
当院の新型インフルエンザ対応	2
地域医療連携	
病診連携施設紹介	3
行事紹介	
防災訓練に参加して	4
6月の医療安全月間講演会を開催して	4
新病院建築状況	5
コメディカルからの一口メモ	5
職場紹介	6
西3階病棟	
ME室	
看護師募集への取り組み	7
医師の人事異動	7

オープンセミナーのお知らせ	7
検討会・研究会開催のお知らせ	7
お知らせコーナー	
看護師募集のお知らせ	8
看護学生募集・学校説明会	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成21年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：高橋 俊毅
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 F A X：045-851-3902
 U R L：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>

地域医療支援病院運営委員 就任挨拶

－ 医療の 3 K －

(株) 日立製作所日立横浜病院 名誉院長
戸塚区医師会長 菊池 英弥

この度、横浜医療センター地域医療支援病院運営委員を拝命致しました戸塚区医師会長の菊池です。ここに一言御挨拶をさせていただきます。

いつの頃かより、医療の世界は患者目線からは「苦しい」「怖い」「きつい」の3K、一方、医師の立場からは「過密」「係争」「経営」の3Kになってしまいました。患者が医師を尊敬し、感謝の念で接していたのは今は昔、なぜこのようなボタンの掛け違いが起こってしまったのでしょうか。



国庫財政を圧迫するとして、まず医療費削減・経済ありきの国策にマスコミが医療バッシングに走り、そして“知らしむべからず、寄らしむべからず”の医療界の積年の姿勢に対し、国民が“痛みを分け合う改革”の美名に踊った結果ではないのでしょうか。最近になり、マスコミも行政もこのままでは産婦人科、小児科、救急医療だけではなく、国民の健康全般が危機的状況にあるとの認識を示し始めています。遅きに失したとは云え、国民の為の医療論を展開する時と思います。

しかし、ひとたび綻びが入った患者・医師関係は一朝一夕には改善するものではありません。まして誰かが補修してくれる等と他人事に構えては何も生まれません。今こそ医療人がこぞって「感謝」「感激」「感動」の3Kを取り戻すべく立ち上がる時です。難しいことは要りません。何よりも大事なことは、日常の医療そのものです。知識、技術の切り売りのみに墮することを廃し、病める方々の気持ちを心より受け止め、信頼される医療を行うことです。

幸いにも戸塚では多くの診療所、病院の下、良好な「診・診」「病・診」「病・病」システムがあり、更に区行政とも緊密な連繋があり、医療環境は整っています。中でも横浜医療センターは戸塚区民の健康を守る中核病院、地域医療支援病院です。運営委員を拝命したからには医師の立場からだけではなく、区民の目線で積極的に参画できるよう努力致します。

－ 戸塚より日本の明日の医療を －



トピックス

当院における新型インフルエンザウイルスへの対応について

横浜医療センター ICT 医事専門職 加藤 浩二

4月下旬のメキシコ・米国における豚インフルエンザ（H1N1）の発生に端を発した今回の新型インフルエンザウイルスの流行は、人から人への感染により全世界的に拡大していき、6月12日には世界保健機関（WHO）がパンデミック警報レベルを最高段階のフェーズ6へ引き上げるに至りました。我が国では、国内感染事例の発生前には徹底した水際対策がとられ、発生以後は状況に応じた柔軟な対応をとっていくこととされました。

そうした状況の中、当院は横浜市の対応方針に沿って、地域中核病院の一つとして5月16日に発熱外来を設置し、医師、看護師、コメディカル、事務職員による医療チームを交替制で組み、主に市の発熱相談センターから紹介を受けた新型インフルエンザ疑い患者を対象として、感染防御に細心の注意を払いつつ診療にあたってまいりましたが、横浜市からの通知を受けて、7月17日をもって発熱外来を廃止することとなりました。約2ヶ月の設置期間中に発熱外来で受診なされた患者様は延べ83名でした。

新型インフルエンザ対策は今後も変更されていく可能性がありますので、関連情報を適宜ご確認いただきますとともに、秋以降の第二波到来の可能性も予測されていますので、引き続き手洗い、うがいの励行による予防対策と咳エチケット(咳が出る場合はマスクを着用)の実施をよろしくお願い致します。

【新型インフルエンザ関連の主な経過】

- 4月28日 当院発熱外来を看護学校体育館内に設置する方針を決定し、陰圧テントの立ち上げ作業等を行う。
- 4月30日 市内在住高校生に新型インフル疑い例が発生するも陰性。
- 5月1日 連休中の新型インフル発生、発熱外来の立ち上げに備え、5月6日までの24時間勤務体制表を作成するも、発生例は出ず。
- 5月7日 医師1名、看護師3名を成田空港検疫所に応援派遣（1回目）。
- 5月9日 成田空港で国内初の新型インフル感染例を確認。
- 5月16日 神戸市内で国内初の新型インフル患者が発生したことを受け、市より発熱外来設置指示の連絡あり。 → 直ちに開設
同日21時50分、市の発熱相談センターからの紹介で、当院最初の発熱外来における者診療を行う。
医師1名、看護師3名を成田空港検疫所に応援派遣（2回目）。
- 6月6日 市内で初の新型インフル陽性確定例が出る。
- 6月17日 当院の発熱外来受診者で初の新型インフル陽性確定例が出る。
- 6月22日 市からの連絡により、夜間発熱外来が輪番制となる。
- 7月7日 発熱外来を看護学校体育館から車庫脇の休憩室へ移設。
- 7月17日 市からの連絡を受け、発熱外来を廃止する。

病院玄関前の発熱外来受付



陰圧テントの中

看護学校体育館に設置した発熱外来



地域医療連携 病診連携施設紹介 半田医院

診療科目：内科 循環器科 皮膚科

当院は、戸塚区といっても保土ヶ谷区、南区との境界に近い平戸2丁目にあります。昭和42年に父がこの場所で内科のクリニックを開業し、私が平成8年に後を継ぎ、現在に至っています。父の病気のため、急に診療所を引き継ぐことになったため、戸惑うことも多く、当初は父の診療スタイルをそのまま継承するような状況でやっていましたが、10年目を過ぎた頃からようやく自分の独白色を出せるようになったと思います。



半田 淳 院長 (右から2人目)

当院は医師1人、受付2人の体制で、こじんまりと内科中心の診療を行っています。看護師や検査技師等はいませんので、必然的に医師である私が、採血から心電図検査、レントゲン撮影まで担当することになります。診療以外の作業に時間をとられてしまうことにはなりますが、これはこれで、患者さんとの距離感が縮まり、メリットもあるのではないかと考えています。

また、自宅を兼ねた診療所のため、私の生活圏と診療圏がほぼ一致してしまうため、愛犬との散歩中に患者さんから呼び止められ、医療や受診の相談を受けたりすることもあり、結構、地域に密着した医療をしているのではないかと感じています。

診療所は古くからの住宅地の中にあるため、最近では、来院される患者さんの年齢層も高くなってきました。小規模ではありますが、近隣の、通院が困難になられた患者さんには訪問診療も行っています。ご自宅で最期をみとらせていただく機会も増えてきており、在宅医療の提供も家庭医と使命と考えています。

横浜医療センターには専門的な検査や入院加療が必要な患者さん等を紹介させていただいており、日ごろから大変お世話になっています。しかし、戸塚区の北東端に位置する当院から南西端の横浜医療センターまでは交通アクセスの利便性があまり良くない点が残念なところです。交通事情に関しては私の努力では太刀打ちできないところではありますが、この壁を乗り越えて、今後も横浜医療センターとの、より良い医療連携を築いていきたいと思っています。

医師不足や医師の過重労働等の医療を取り巻く問題に加え、今冬には、新型インフルエンザの大流行が予想されており、病院と診療所が適切な役割分担と協力を行って対処していかななくてはならない問題が山積しています。当診療所としても、スタッフ一同、少しでも地域医療のためにお役に立てるように努力していきたいと思っています。



半田医院

〒244-0802 神奈川県横浜市戸塚区平戸2-30-8

TEL 045-821-1235

診療時間 9:00～12:00 月・火・水・金・土・第24日
15:00～18:30 月・火・水・金

休診日 木曜日、祝日、第1.3.5日曜日

行事紹介

防災訓練に参加して

横浜医療センター附属横浜看護学校
1年 小山 智子

今回、病院での火災発生という設定で病院・看護学校合同の防災訓練が行われ、学生は起震車と煙体験ハウスによる体験も行いました。

私は中学生の時に、地震を想定した防災訓練を行った翌日に、中越地震で被害に遭いました。その時、災害は「まさか」と思っているにもかかわらず、いつ自分たちの身に起こるかわからないことを実感しました。実際に被災し、訓練の大切さを痛感し、高校での防災訓練では真剣に取り組むようになりました。

災害の際、看護師は安全で迅速な判断と行動が求められるので、今回のようなリアルな防災訓練に参加できたことは、とても貴重な体験となりました。目的を持たずに訓練を行っては、人を助けることも自分の命を守ることもできません。実際に被害に遭って、周囲の人達に防災訓練の大切さを伝え、一人一人が訓練の重要性を認識し行動できるようにしていきたいです。



防災訓練の様子



災害体験

煙体験ハウス→
←起震車



6月の医療安全月間講演会を開催して

医療安全管理係長 小林 洋子

6月は当院の医療安全月間です。

今年度は武蔵野赤十字病院の呼吸器外科部長、矢野真先生をお招きし6月30日に5Sの講演会を開催しました。5Sとは「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ」のそれぞれの頭文字をとって表現したものです。

つまり不要な物を捨て、使いやすく配置し、点検・整備し、整理・整頓された状態を維持し、維持するためにいかに教育し習慣化させて行くかという事がポイントになるようです。こうした5S活動は業務の機能性を確保し、質と安全の向上に繋げる事を可能としており、産業界などでは早くから取り入れられていたようです。



矢野 真 先生



講演の様子

矢野先生の講演はビフォー、アフターの写真が多く盛り込まれ、大変楽しく、あっという間の90分でした。当日は出席者数197名と大盛況で、職員の中には早速、新棟移転に向けて5Sに取り組みながら準備を始めようと意気込んでいる者もおります。

新病院建築状況



南東の病棟からみた新病院

宮繕専門職 山崎 忠男

工事が着工してから約1年が経過しました。皆様のご協力により工事は順調に進捗しています。7月末日までに躯体工事が終了し、本格的に内装・設備工事に着手していきます。

工事中、重機の騒音や振動により患者様並びに近隣の方々にご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

コメディカルからの一口メモ

感染症のはなし - 食中毒 -

臨床検査科 細菌検査室 臨床検査技師 濱田 大輔

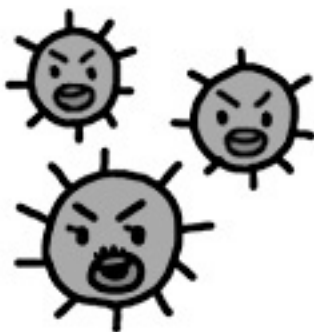
食中毒とは、微生物や化学物質等の毒素を含む飲食物、水を摂取した結果起こる下痢や嘔吐や発熱などの疾病の総称です。食中毒は、原因となった因子・物質によって、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒、化学物質性食中毒、自然毒食中毒に大別されています。現在日本で細菌性食中毒の原因菌として指定されているのは16種類で、サルモネラ属菌、ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター、病原性大腸菌(O157など)等です。ウイルス性食中毒ではノロウイルスが原因物質になっています。

細菌やウイルスで汚染された食品を摂取し、潜伏期(症状が出るまでの期間)は原因物質により多少異なるが、4時間から4日後とされています。食中毒を引き起こす病原体の感染菌量は、腸管出血性大腸菌O157・赤痢・ノロウイルス、赤痢アメーバは少数菌量で、サルモネラ・腸管出血性大腸菌以外の腸管病原性大腸菌は多数菌量で発症します。

発症件数の推移は、サルモネラ・腸炎ビブリオによる食中毒は近年減少傾向にあり、逆にノロウイルスによる食中毒は増加傾向にあります。発症時期は高温多湿になる夏期に、細菌性食中毒が最も多く、冬期になるとノロウイルスによる食中毒が多く発生しています。

かつては人から人への感染がないものとして考えられていましたが、近年では腸管出血性大腸菌(O157など)やノロウイルスは人から人へ感染する為、食感染症として伝染病と合わせ対策がなされています。

付けない(清潔)、増やさない(迅速、冷却、乾燥)、殺す(加熱など)をしていれば感染の予防になると言われています。体の抵抗力の弱い乳幼児や高齢者はもちろん、成人でも夏の暑さで体力が低下している時に食中毒は起こりやすいので注意して下さい。



付けない
菌を 増やさない
殺す

職 場 紹 介

●今回は西3階病棟とME室の紹介です。

西3階病棟

西3階病看護師長 清田 久美子

西3階病棟は、外科の単科病棟です。手術件数は月に約30件を数え、緊急手術を受ける患者さんにも迅速に安全な看護ができるよう心がけています。手術を受ける患者さんは手術のことやご自分の病気のことなど不安な気持ちいっぱい入院してこられることと思います。私たちはそんな患者さんの気持ちになって、手術前の説明をわかりやすく行い、手術後は早期に回復されるように、合併症の予防に努めています。

当病棟には手術患者さんだけでなく、手術を終え、その後の治療のために入院しておられる方が多くいらっしゃいます。急性期から治療期まで様々な看護が求められる病棟ですが、スタッフはいつも笑顔で、がんばっています。

毎週木曜日は、診療部長関戸医師の回診が行なわれますが、回診の後は医師と看護師の合同カンファレンスを行い、患者さんの今後の治療や看護について話し合いをしています。

写真はカンファレンスの後、出席者全員で撮ったものです。

このように西3階病棟は、先生方とのコミュニケーションもよく、スタッフは和気あいあい仕事をしています。今後も、よりよい医療、看護の提供ができるようスタッフ一同、協力してまいります。よろしくお願いいたします。



病棟のスタッフ

ME室

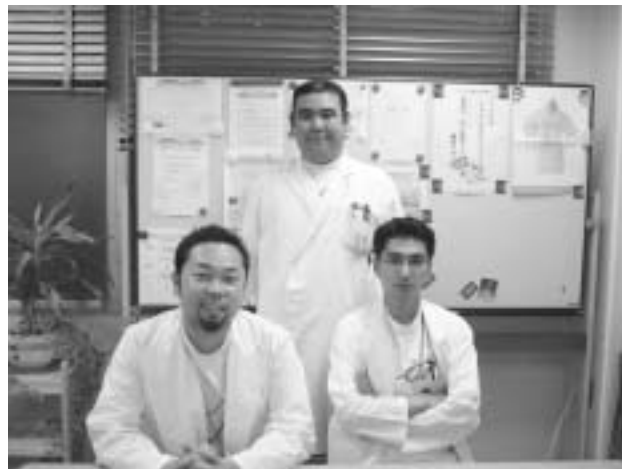
臨床工学士 戸田 修一

本来“ME”：Medical Engineerとは「医用工学の技士」を意味し、1987年以前病院内の医療機器に関わる職種でした。そしてその年、医学と工学の両面を兼ね備えた医療機器の専門医療職として、「臨床工学技士（CE：Clinical Engineer）」が誕生しました。その名残のため、現在においても多くの病院で「臨床工学技士」は“ME”と呼ばれています。

法律上“ME”としての業は、「医師の指示の下に生命維持管理装置（人工呼吸器、人工心肺装置、血液浄化装置等）の操作及び保守点検を行う」と明記されています。それ故に私たち“ME”3名（ちなみに合計年齢100歳）は、医師・看護師や他の職種と密な連携を図り、生命維持管理装置を中心として高度な医療機器の操作・保守管理を主たる業務と考えています。しかし、現状での実践業務はごく一部に過ぎません。

また、新病院では、更なる高度化・複雑化した医療機器の台数の増加が予想されます。

これらを踏まえ、今後ME室としては、みなさまからの要望と期待に応え、より多くの医療機器への安全性確保と有効性維持が図れるような業務体制の確立に努めていきたいと思っています。



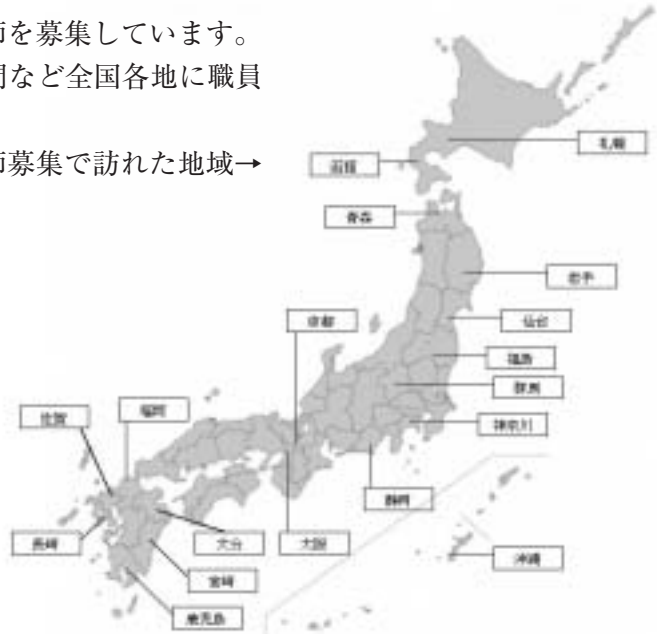
ME室のスタッフ

看護師募集への取り組み

当院では新病院のスタートに向けて多くの看護師を募集しています。

4月からは、就職説明会への参加や看護学校訪問など全国各地に職員が赴き、募集活動を展開してきました。

看護師募集で訪れた地域→



『平成22年私たちは生まれ変わります』のポスター(8ページ下)とパンフレットは大きな関心を得ることができました。

就職説明会参加 19ヶ所 ブース参加者490余名
 看護学校・大学訪問 170件
 募集要項配布部数 1677部
 ホームページアクセス数 3650件 7/21現在

まだまだ募集活動は続きます。

医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
平成21年6月1日	採用	消化器科医師	野登はるか	東京女子医科大学消化器病センター	平成21年5月31日	退職	消化器科医師	天野覚美
平成21年6月1日	採用	消化器科医師	高橋麻衣	東京女子医科大学消化器病センター	平成21年5月31日	退職	消化器科医師	渥美友里子
平成21年6月1日	採用	消化器科医師	則竹里奈	東京女子医科大学消化器病センター	平成21年5月31日	退職	消化器科医師	門前正憲
平成21年6月1日	採用	皮膚科医師	谷口友則	当院レジデント	平成21年6月1日	退職	麻酔科医師	塚原美佳
平成21年6月1日	採用	麻酔科医師	山川雅子	藤沢湘南大病院				

オープンセミナーのお知らせ

インフルエンザ・ノロウイルスに感染しない・させないために！

日時：平成21年10月29日(木) 17:30~19:00
 場所：横浜医療センター附属横浜看護学校 4階視聴覚室
 講師：横浜医療センター 感染管理認定看護師 深瀬史江 佐野睦美
 対象者：看護師の皆様 問い合わせ先：045-851-2621
 申し込み方法：FAXまたは郵送 副看護部長 長田恵子



日頃の感染対策を見直してみませんか？

参加お待ちしております。

横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 日塔整形外科部長
 045-851-2621 (代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長
 045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

お知らせコーナー

看護師募集のお知らせ

平成22年春の採用について

- 応募資格
看護師、助産師の資格を有する方、または平成22年3月に資格取得見込みの方。
- 統一試験日 平成21年8月26日(水)
※その後は随時試験を行いますので、病院にお問い合わせください。
- 試験会場 横浜医療センター
- 試験内容 筆記試験および面接試験
- 応募要項
必要種類

	受験願書	卒業(見込)証明書	成績証明書	看護師等免許証(写)
資格取得見込者	○	○	○	※
有資格者	○	○		○

※准看護師免許証がある場合は写しを提出。

書類提出先

〒245-8575 神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2
国立病院機構 横浜医療センター 管理課給与係長 あて

書類提出締め切り

試験日の10日前までに必着のこと。



平成21年度途中採用について

常勤看護師（夜勤可能な方）、非常勤看護師（日勤・夜勤専門）を随時受け付けていますのでご連絡ください。

問い合わせにつきましては、下記担当までご連絡頂きますようお願い致します。

(担当) 横浜医療センター 管理課給与係長

TEL 045-851-2621 E-mail 3133jy01@hosp.go.jp

病院見学について

お電話、もしくはメールにてご連絡下さい。随時対応させていただきます。

『平成22年私たちは生まれ変わります』新生横浜医療センターの第一期生はあなた！

新病院開院を控えた看護部のスローガンは、ハードに負けない横浜医療センターを看護部が中心となって築いていこう！一人一人の看護師が輝くように！変化を恐れず、スピードアップで！としています。

夢をかなえるための第一歩を私たちは力いっぱい応援します。

平成22年度看護師募集要項



国立病院機構 横浜医療センター
http://www.hosp.go.jp



独立行政法人国立病院機構

横浜医療センター附属横浜看護学校

看護学生募集



一般入試：22年1月21日(木)

社会人・推薦入試：21年11月7日(土)

		願書受付期間	受験科目
一般入試		H21.12.15(火)～ H22.1.13(水)	(一次) 国語総合(現代文) 英語I・II 数学I (二次) 面接
社会人入試		H21.10.14(水)～ H21.10.27(火)	国語総合(現代文) 面接
推薦入試	指定校制		小論文 面接
	公募制		国語総合(現代文) 面接

学校説明会



お電話、Mailで、事前にお申し込みください

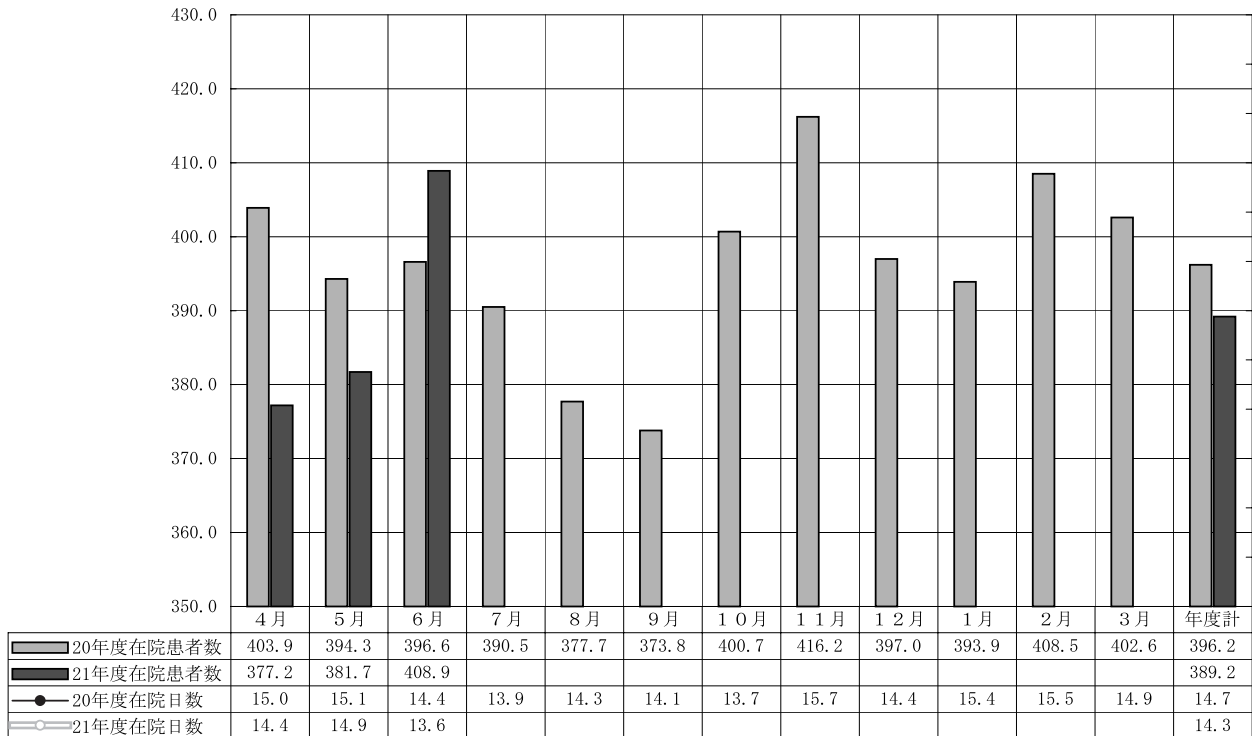
第1回	7月25日(土)	【公開講座】
第2回	8月7日(金)	
第3回	8月28日(金)	【公開講座】
第4回	9月26日(土)	
第5回	10月10日(土)	【楓葉祭】
第6回	12月5日(土)	【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2
 【問合せ】TEL：045(853)8322 学校教員室
 【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>

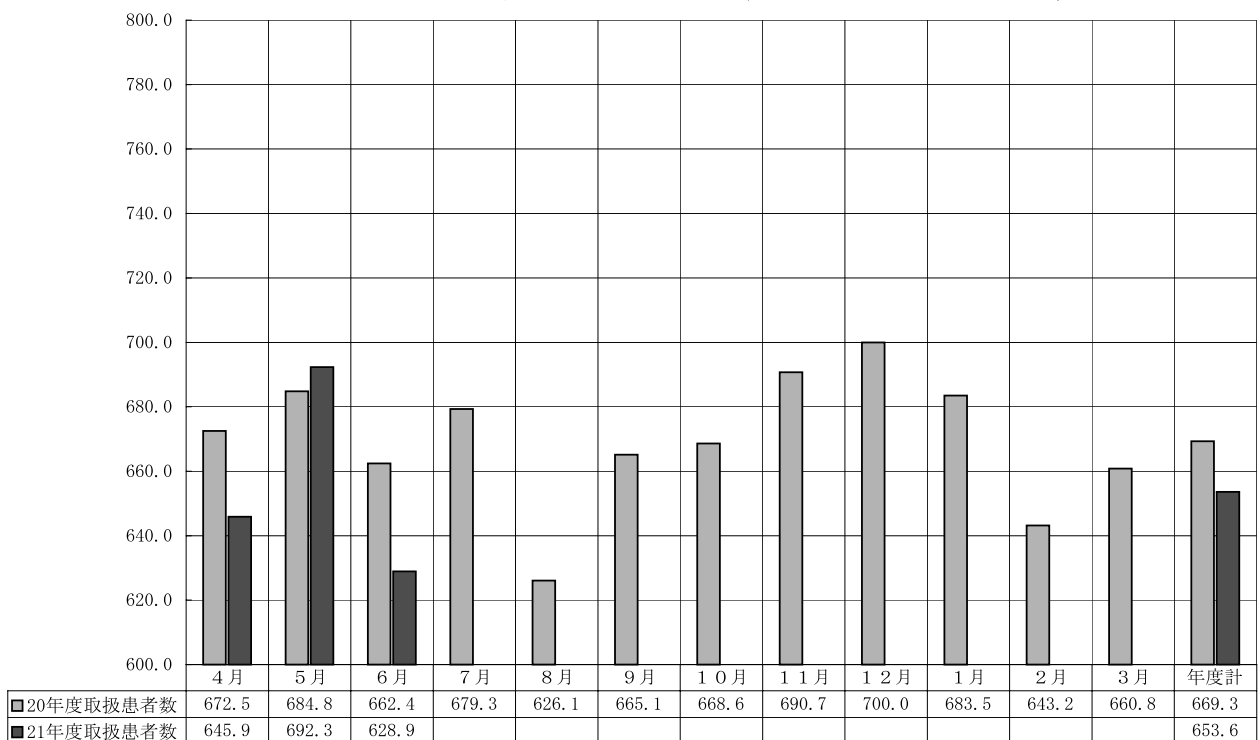


患者数等の動向～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H21年6月30日現在)



外来患者数年度別月別比較 (H21年6月30日現在)



編集後記

横浜医療センターに赴任して3ヵ月。
 今回、思いがけず編集後記を書かせていただくこととなりました。
 赴任当初の4月には桜の花、6月に入ると玄関前の紫陽花が見事な花を咲かせ、夏を迎えた最近では、職場の私の机の上を見たことも無い虫たちが這い回り、、、日々、身近に自然を感じながら仕事をしています。
 「はらじゅくかわら版」では、主に病院の行事や取り組みについてご紹介していますが、あわせて、病院内の風景や四季の移ろいなども皆様にご紹介してゆけたら、と思っております。

職員係長 南部 宗徳



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週内科 第2・4・5週循環器	第1・3・4・5週消化器 第2週 内科	椿原 基史	高橋 竜哉	曾我 隆義	▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ ■:午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)網代
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人		検査日	高橋 竜哉(新患) 遠藤 雅直(予約)	高橋 竜哉	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	椿原 基史 ■山根 章	
	消化器内科	高橋 麻衣	鈴木 大輔	松島 昭三	野登 はるか	小松 達司	
	循環器科	内田 吉枝 加藤 丈二	岩出 和徳 ヘーヌカ外来(交代制)	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
	リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	関口 章子 ■曾我 隆義	■関口 章子	
心療内科	検査日	森田・佐倉	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ<火曜日>(物忘れ外来) / <水曜日>(一般・小児心身症)	
精神科	森田 睦郎	武川 吉和	山口 和己	佐倉 義久	武川 吉和	※月～金:初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
小児科	鎮木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鎮木 陽一	小林 慈典 注③	注③ 第5週 鎮木	
	藤塚 麻子	鈴木 健 注①	石津 博子	長濱 晶子 注②	小郷 寛史 注④	注① 第4週 及川 注② 第1,2週 菅井 注④ 第5週 藤塚	
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	及川 茂樹 注⑤	注⑤ 第5週休診	
	佐野 渉	浅野 史雄	一万田 充洋	佐野 渉	注⑥	注⑥ 急患のみ受付	
呼吸器外科				山仲 一輝	坂本 和裕 山仲 一輝 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	安羅 有紀	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00 注⑦予約のみ	
	山崎 吉以	国府 秀俊	山崎 吉以	安羅 有紀	岩本 直之		
	宮澤 理恵	吉竹 俊裕	岩本 直之	吉竹 俊裕	宮澤 理恵 日塔 寛昇注⑦		
形成外科	村下 一晃		村下 一晃	村下 一晃	村下 一晃		
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼・往診はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。	
	谷口 友則	谷口 友則		谷口 友則	谷口 友則		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
産婦人科	向田 一憲	佐々木 徹	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦	(受付)初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30	
	窪田 与志	高江洲陽太郎	佐々木 徹	中村 秋彦	向田 一憲		
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付)初診・予約外再診とも 8:30～10:00まで ※注⑦火曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑧水曜日9:00～11:00【完全予約制】	
	秦 桂子		秦 桂子	秦 桂子			
耳鼻咽喉科	新橋 渉	向出 光博	春日井 茂	高津 光晴	山口 央一		
放射線科		皆川 由美子 注⑨	幡多 政治 注⑩				
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	手術日	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 大槻伸江(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接ご連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鎮木)	アレルギー(鎮木)		アレルギー(鎮木)	乳児検診(交代医師) ※第3以外 フォローアップ外来(小郷) 13:30-14:30予防接種(交代制)	
		アレルギー(菅井)	感染免疫・アレルギー(小林)	アレルギー(塩谷1,3藤塚2,4)	アレルギー(菅井)		
		アレルギー検査	腎臓(第1,3長濱)	神経(第3週 西山)			
			アレルギー(野沢第2,4)				
	外科	癌化学療法外来	乳癌検診	癌化学療法外来	癌化学療法外来		乳癌検診については、毎週火曜日午後2時から2時30分まで、予約制で行います。予約は②番窓口及び電話で行います
			癌化学療法外来	スキンケア外来 ※第2・4週			
		スポーツ整形外科	※注⑨				
産婦	母親教室	助産師外来※注⑩ 母乳外来※注⑪				※注⑩ 担当医:[国府] 毎週15:00～16:00 ※注⑩ 第2・4週の午前 ※注⑪ 各週午後	
アルコール							
循環		ヘーヌカ外来 ※注⑫				※注⑫ 第1・3・5週(加藤) 第2週(網代) 第4週(内田)	

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

